

縄奉納と由来

新小岩御講々元 三田 孝代司

新小岩御講は、武蔵御嶽神社の拝殿と鳥居に飾るしめ縄を毎年奉納している御嶽講社です。その伝統は江戸時代に遡り、平成一七年でしめ縄奉納百四十五年目を迎えました。平成二年この行事が葛飾区無形文化財の指定をうけ登録されました。数ある御嶽講社のなかで当御講とは金銭には、代えられない無償の行為ですが大変な栄誉であり、講中にはお利益が何倍にもなって返ってきているかもしれません。かつて葛飾、江戸川地区の農家の代表的な副業は、しめ縄づくりをはじめとする菓加工品でした。宅地開発が進んだ結果、昭和四十年代後半には水田も姿を消し農業の機械化に伴ひ、葦材料の確保もむずかしくなりましたが、古くからの技



北、北海道方面にも送られ賑やかに飾られ正月の風物誌となっております。いつの頃から、御嶽神社の信仰とむすびついたかはつまびらか

ではありませんが、当地方が葛西三万石とよばれる穀倉地帯であつた事、下小松が大しめ縄を奉納するようになったのは注連づくりの本場であつた事と思われまふ。昭和四十七年神社よりしめ縄奉納百二十年の記録あり、との知らせをうけ同年、霧の御坂に向拝大注連百二十年記念碑の建立を見たのであります。毎年二月八日に講元世話人によりしめ縄の行い講中参拜のはじまる三月八日の山開きに間に合うよう届けてまいりました。昭和三十年代後半より十一月八日に行います。正月は、初詣客は御岳山が一年で最も高の賑わいをみせるからです。昭和三十四年神社の希望で、藁を運び上げお山でしめ縄の演を行ったときから芯に杉の丸太を入れるようになった。



以来ケーブルで上げるようになったが当初ケーブルが小さかったので外に縛りつけて上げたが、昨今は八輪駆動車で運んでもらっている。

伝統行事が年々少なくなつてゆく中で、お講は営々としてメ縄の奉納をつづけております。文化財の指定をうけた責任と誇りが、講中の絆を一層強く御嶽神社にいつまでもお講の大注連が飾られることを願わずにはいられません。御嶽神社のますますのご発展と、講中の無事安全を祈りつつ。

副講元 汐沢年男・記

御嶽神社宝物シリーズ5

重要美術品・鉄製俵

日本風俗史学会会員
青梅市文化財保護審議会委員

齋藤 慎一

鑄鉄製の鉄俵は、長さ57cm、直径38cm、周囲109cm、重量38kg。末社の大黒天、恵比須社の賽銭箱や花立に使つたと伝える。実際の米俵を鑄型とし、厚さ0.8cm。俵菰は四箇所編で、編の間(封間)は15cm、編目は五十六。菰の両端を充分に折り込み、小口に棧俵を当る。棧俵は直径27cm。三



国指定 重要美術品
鉄製俵
上は側面。
下は底部の刻銘。
写真は青梅市郷土博物館学芸員の伊藤博司氏撮影

十一手の菊形。小口繩は菊筋に掛ける。横繩は三筒所に二廻りに掛け、捻込でとめる。縦繩は掛けない。山上茂樹氏によれば、現在の四斗俵が長さ三尺七寸(111cm)なので、これは二斗(約36・1)俵の内俵であるという。この鉄俵の底部には約11cm×17・8cmの赤銅の板を嵌め

る。磨滅は甚しいが「武刀、柚保、金峯山神主」濱名助六郎吉胤代、當國柏原、大工神田圖書、作者濟藤□□兵衛也、困願助左衛門、慶長十五年癸卯九月九日」と線刻する。銘文や大きさを考えて、慶長十一(一六〇六)年の大久保長安による社殿造営に關連する本社への奉納物であろう。安永年間(一七七〇年代)の書類では、神物でなく大黒天社の花立とあつた。「武蔵名勝国会」には図をのせる。

作者は高麗郡柏原村の木工(この場合は鑄造工)である。柏原村には「小田原衆所領役帳」によると師岡山城守の所領(四十五貫文)があつた。師岡氏は中世の御嶽神社を修理にも關係した三田氏の一族である。現在の埼玉県狭山市の一部である柏原村は中世、鑄造鍛造の上手な工人のいた村で、柏原鍛造の新(荒)井は北条氏照に毎年鑄三十丁を貢納していた。柏原大工の名は、文明元(一四六九)年の柏原村

の劍明神懸仏にはじまり、永禄十(一五六七)年の天王山八王寺(飯能市)懸仏の柏原神田神四郎、元龜二(一五七二)年の円光寺(狭山市)の銅造觀音像の大工神田、天正七(一五七九)年の金山社(坂戸町)懸仏の大工柏原神田、天正十三(一五八五)年に青梅市師岡の妙光院に大工神田作の千手觀音像などがある。柏原の白髪神社の懸仏の作者に神田宮内(天正十八年)・神田半十郎(天正十九年)・神田圖書助(同年)がある。神田圖書は、御嶽の神田圖書の圖書と同一人であろう。また齋藤□□兵衛は、前掲の白髪神社の慶長十六年の懸仏奉納者の柏原之村齋藤一郎兵衛であろう。

こういうわけで御嶽神社の鉄俵は当時の生活必需品の俵の正確な姿を伝える美術品であると共に、中世の武蔵国の鉄製品の歴史を語る注目すべき存在といえるのである。

〔参考文献〕稲村担元「武蔵史料銘記集」
〔山上茂樹・多摩郷土研究十七号・表紙〕